

研究名：硬膜外無痛分娩時の患者自己調節型硬膜外鎮痛法において、定期的間欠硬膜外投与併用の有無が分娩アウトカムへ与える影響について

1．研究の目的

硬膜外麻酔による無痛分娩において、硬膜外への薬剤投与方法の違いにより、痛みの程度や分娩への影響がないかどうかについて検討します。

2．研究の方法

研究対象：2017年1月から12月、2019年1月から12月に当センターで無痛分娩による出産を選択した方

研究期間：倫理委員会承認後から2023年3月31日まで

研究方法：当センターで無痛分娩による出産を選択した方を抽出し、硬膜外薬剤投与方法の違いにより、分娩経過に違いがないか、カルテを参照し、後方視的に調査します。（当センターでは、無痛分娩時の硬膜外麻酔への薬剤投与方法が、2018年4月から変更になりました。）

3．研究に用いる情報の種類

病歴、検査データ、分娩記録、無痛分娩中の麻酔記録、胎児心拍モニター等

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、**個人情報は保守**されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**5月31日までに**記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 麻酔科 山下陽子
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7883）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 麻酔科 山下陽子（責任者氏名）